

日本労働年鑑 第58集 1988年版  
The Labour Year Book of Japan 1988

第三部 労働組合の組織と運動

II 労働組合全国組織の動向

1 全日本民間労働組合連合会

3 政党等との関係

共産党を除く四野党との連携強化

「連合」の政治・政党等との関係については、「進路と役割」のなかの「基本目標」および「課題と使命」、運動方針の「その八」で明らかにされた。

運動方針の「その八」は、「『連合』と政治(政党)との連携強化をはかる」であり、このなかでは、「要求・政策・目的が一致する政党、団体」との協力を基本に、「従来からの四野党との連携および協力関係を強化していく」こと、四野党とは政策・制度課題を中心に「定期会合」などで意見交換しながら協力を進めること、「組織内議員懇談会」は今後も継続すること、政党支持については「当面、加盟組織の判断に委ねる」こと、「政治とのかかわりあいについて検討する場を設ける」ことなどが打ち出されている。

連合議員懇の発足

前記方針にもとづいて、一二月八日、「連合」の組織内国会議員による全員総会が、衆院第二議員会館で開かれ、これまでの全民労協組織内議員懇談会を「連合組織内議員懇談会(略称・連合議員懇)」にあらためて、活動を継続させていくことなどが確認された。

この総会には、社会党(衆院議員一七人、参院議員一〇人)、民社党(衆院議員一人、参院議員六人)の両党所属連合組織内国会議員四四人全員(第59表参照)が出席し、「連合」からは山田事務局長はじめ関係役員が出席した。意見交換のなかでは運営要綱などが確認され、代表委員に加藤万吉(社)と吉田之久(民)両衆院議員、事務局長に中村正男衆院議員(社)が選出され、運営委員一二人も選出された。

日本労働年鑑 第58集 1988年版

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

\*\*\*\*年\*\*月\*\*日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1988年版(第58集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】